

令和5年度「学ぶ力」育成プログラム【様式例】

学校番号：23001
学校名：札幌市立苗穂小学校

改訂のポイント		<p>○「繋ぐ・繋がる・結ぶ力の育成」の充実を図り、学びの質を高める。 ○パートナー校の協働テーマ「つながり」を柱に、系統性、連続性のある「小中一貫した教育」の推進を図る。</p>		
項目名	項目内容	項目内容の具体		
目標	「学ぶ力」の育成に係る目指す子ども像	<p>☆子ども同士の対話で学びを高め合う子 ☆教科特有の見方・考え方を働かせ、学びを深めていく子</p>		
「学ぶ力」に関する成果や課題	主体的に学習に取り組む態度	<p>【昨年度の具体的な取組】 ○学びの価値に迫る問い直し ○学びを振り返る場の設定・工夫 ○学んだことを他の学習や日常とつなぐ関わり</p>	<p>【成果】 ⇒意欲的に課題を追究しようとする姿が一層見られるようになった。 ⇒授業での問い返しや焦点化などの関わりによって自分の考えを見直そうとする姿が見られた。</p>	<p>【課題】 ◇与えられた課題は意欲的に取り組むが、自ら課題を見付けられる子は少ない。</p>
	思考力・判断力・表現力等	<p>【昨年度の具体的な取組】 ○一人一人が考えをもつ場の設定 ○対話をする必要性のある課題設定 ○多様な考えが生まれる状況づくり</p>	<p>【成果】 ⇒自分の考えをもつ、自分の考えをはっきりさせる姿が見られるようになった。 ⇒自分の考えを伝えたり、聞こうとしたりする姿が増えた。</p>	<p>【課題】 ◇グループ交流は活発に行うようになったが、全体交流では一部の子の発表になってしまふことが多い。</p>
	基礎的・基本的な知識及び技能	<p>【昨年度の具体的な取組】 ○習熟タイム、放課後教室、学期末テストの取組 ○家庭と連携した学習習慣づくり</p>	<p>【成果】 ⇒放課後教室に意欲的に取り組む児童が多い ⇒家庭学習が定着している児童が多い</p>	<p>【課題】 ◇学年間の学力差が大きい。</p>
今年度の具体的な改善策（取組）	取組の最重点	<p>【取組の共有】 主体的に聞く態度や伝え合う力など、関わり合う力（繋ぐ・繋がる・結ぶ力）の育成を通して、共に考えを練り上げる学習活動の充実。</p>		
	具体的な改善策（取組）	<p>○子どもが主体的に学ぶことができる課題探究・課題解決の学習活動の実践 ○小中一貫した教育にかかる基本方針を踏まえ、パートナー校と「学ぶ力」育成に関する交流 ○ICT機器を活用した学習活動の充実 ○「家庭学習」「放課後教室」「学期末テスト」の苗穂小学力向上プランを通しての基礎学力向上 ○自主学習（家庭での学習）の取組の啓発（さっぽろっ子「学び」のススメの有効活用と学校独自の家庭学習のすすめの活用） ○感染症対策に配慮した学習活動の工夫</p>		
検証の方法	各種調査や子どもの自己評価指標の活用	<p>○各教科等の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用（日常のテストやノート、観察等） ○全国学力・学習状況調査や学校独自の調査結果等を活用 ○札幌市全体の共通指標（子どもの自己評価）、ICTの活用に係るアンケートの具体的な活用方法 ○学校独自の児童アンケート・保護者アンケートの有効活用</p>		